社会保険労務士白書
2022年版

全国社会保険労務士会連合会
JAPAN FEDERATION OF LABOR AND SOCIAL SECURITY ATTORNEY'S ASSOCIATIONS

はじめに

私ども社会保険労務士は、昭和43年に社会保険労務士法が制定されて以来、今日に至るまでの激動の時代において、労働社会保険諸法令を扱う唯一の国家資格者として、事業の健全な発達と労働者等の福祉の向上を目指して、時代のさまざまな要請に応えて参りました。

現在では会員数も45,000人に至り、多くの皆様のお役に立つとともに、その使命を果たすべく、全国社会保険労務士会連合会、都道府県社会保険労務士会、全会員が一丸となって、日々努力を重ねております。

さて、昨今の社会情勢については、我が国においても人口オーナス時代を迎えるとともに、いわゆるGAFAと称される企業群が台頭し、急激なデジタル化が進み、過度な市場原理主義の台頭による格差社会の拡大が現実のものとなりつつあり、人々の不安が高まるといった状況にあります。

こうしたなかで、政府においては、「新たな資本主義」をテーマに、「成長と分配の好循環」をスローガンとして、さまざまな施策の実現を図ろうとしています。

また、従前の「働き方改革」を「働きがい改革」に置き換えるとともに、労使双方が、仕事に関する熱意や意欲、幸福度などを重視することにより、働きがいを高めていこうという取り組みも進んでおります。

同時に、企業においても、いわゆる非財務情報の開示を義務付ける方向性が示されており、この中には、人材育成方針、男女別賃金、女性管理職比率等の人的資本にかかる項目についても検討がなされています。

私ども全国社会保険労務士会連合会と致しましても、コーポレートメッセージとして、「人を大切にする企業づくり」を支援し、「人を大切にする社会」の実現を目指すことを掲げて、社会からの要請に応えるべく、関与する企業とともに、変化に対応するための取り組みを積極的に進めて参る所存であります。

この「社会保険労務士白書」は一昨年度から刊行をはじめたところ、多くの反響が寄せられたことから、昨年度から毎年度刊行することと致しました。

社会保険労務士制度の現在の姿を大局から俯瞰するとともに、私どもが重点的に取り組んでいる事項を中心に編集を致しましたので、是非ご一読いただきたく存じます。

末筆ながら、この白書により、社会保険労務士制度について、さらなるご理解をいただくことを祈念するとともに、発刊にご協力いただいた多くの方に御礼申し上げます。

2022年10月
全国社会保険労務士会連合会
会長　大野　実

発刊にあたって

近年、我が国社会は、急速な少子高齢化の進展により、経済を支える企業、とりわけその大多数を占める中小企業・小規模事業者において、経営を維持発展させるための人材をいかに確保し、育成し、定着させるかが深刻な課題となりました。こうしたなか、政府は、人手不足のなかでも持続可能な経営を実現するための新たな施策として、職場の生産性を高める「働き方改革」や、デジタル技術を活用した「DX（デジタルトランスフォーメーション）」の推進を掲げるとともに、高齢者、障害者をはじめとする多様な人材の活用、また、育児、介護、病気の治療をしながら働く労働者の支援に取り組むようになりました。

2020年の初頭からの新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、我が国においても、瞬く間に、生活様式の全般にわたり劇的変化をもたらしました。特に働き方については、感染防止と生産性の両立という課題に対し、リモートワーク、時差出勤等、これまで対面で同じ時間に働くことを前提としていた中小企業・小規模事業者には、導入が難しいとされていた働き方を取り入れることが求められました。また、緊急事態宣言の発出により、観光業、飲食業等の業種においては、休業を余儀なくされ、多くの事業主が雇用調整助成金の活用等によって従業員の雇用と生活を維持するための対応に追われたのは記憶に新しいところです。

こうした社会の大きな変化によって、私たちの生活や働き方も、日々変化を余儀なくされています。そのことを最も身近に感じ、事業主の相談に応じて労働者が安心していきいきと働ける職場づくりを支援し、また、労働者やその家族からの働き方や年金といった暮らしに関する相談に応じ、包摂性のある持続可能な社会づくりを、現場に即した精緻な知見で支える専門家として、社会保険労務士が存在しています。

労使関係や日頃の労務管理をはじめとする労働の分野のみならず、医療、年金、介護等の社会保険、更には福祉の分野を見据えた社会保障に関する高度の専門性を備えた社会保険労務士の制度は、半世紀を優に超える歴史を有する、世界に類を見ないものであり、研究者の視点からしても、社会保険労務士がその専門性を発揮して、これからの我が国社会の維持・発展にどのように貢献するのか、大いに注目すべきところとなっています。

今般、社会保険労務士を取り巻く環境の変化、その役割について整理し、社会保険労務士制度の概要、連合会の活動報告等、多様な資料を掲載した「社会保険労務士白書2022年版」を発刊する運びとなりました。本書が、国民の皆様の社会保険労務士に対するご理解を深めていただくとともに、社会保険労務士制度の更なる発展の一助になれば幸いです。

2022年10月
社会保険労務士総合研究機構
所長　村田　毅之

CONTENTS

巻頭特集 **働き方改革・デジタル・新しい資本主義** …… 9

第1章 **社労士制度発展に向けた取り組み**

1. 働き方改革への取り組み…… 18
2. デジタル対応…… 20
3. グローバルな課題への取り組み …… 22
4. 広報に関する取り組み…… 26
5. SDGs の普及促進への取り組み …… 29
6. 労務コンプライアンスの実現に向けて…… 31
7. 学校教育への取り組み …… 34
8. 成年後見制度への取り組み…… 36
9. 職業倫理向上のために…… 38
10. 研修に関する取り組み…… 40
11. 社労士会労働紛争解決センター
(総合労働相談所、職場のトラブル相談ダイヤル事業) …… 41
12. 社会保険労務士総合研究機構…… 42
13. 街角の年金相談センター…… 44
14. 社会保険労務士賠償責任保険 福利厚生事業
（全国社会保険労務士会連合会共済会）…… 47
15. 連合会が受託している主な委託事業…… 48
16. 災害対応…… 50

第2章 **社会保険労務士について**

1. 社会保険労務士制度の沿革（概要） …… 52
2. 登録状況…… 54
3. 紛争解決手続代理業務試験の状況…… 58
4. 社会保険労務士試験の状況…… 60

第3章 **組織・財政等**

1. 連合会の事業内容…… 64
2. 都道府県会の事業内容…… 65
3. 地域協議会…… 65
4. 連合会の財政状況（公益事業）…… 66
5. 懲　戒…… 68

第4章 **関係資料等**

1. 直近のプレスリリース一覧…… 72
2. 設置委員会・部会一覧（令和３・４年度）…… 73
3. 都道府県社会保険労務士会一覧…… 82
4. 街角の年金相談センター一覧…… 83
5. 著作物…… 85
6. 労働社会保険関係法改正一覧…… 86